

箸の感謝（供養）まつりのご案内

平素は当神社のことに付いて格別のご奉賛を賜りまして、誠に有り難うございます。

当神社は、その昔、伊勢神宮の神領地（御園）であった、清洲城下の朝日郷にご鎮座。

また、徳川家康公の正室となられた朝日姫（太閤殿下の妹様）の氏神様です。

慶長十六年に、名古屋城築城に伴い、氏子共々現在地（お城の真南）に遷座され、城下町碁盤割りの総氏神として、崇敬を集め、広小路通りの賑わいの中心地として、近年まで熱田神宮に次ぐ参拝者を数えておりました。

したがって諸祭事も伊勢神宮に倣う処が多く、特に四大祭の神饌品には最初に「箸」をお供えし、次に盛飯、清酒、濁酒、角餅、魚などが伝供して祭典が齋行されています。

当神社の年中行事の一つであります「箸の感謝まつり（供養祭）」が来る八月四日に「はし」に因んで当日午後二時より氏子皆様の商売繁盛のご祈禱が執り行われます。

「箸」は申すまでもなく、人みな生をうけ、物心ついて以来、五体の養いとして欠かせない役を努めて参りました。

この箸に感謝（供養）する祭りです。このお祭りには、錦、米、東桜、大須の氏子区域はもとより近隣の町の飲食業を営まれる方々が日々ご来店のお客様のご使用された箸に感謝すると共に商売繁盛の祈願神事としてご賛同得て執り行われています。今回はコロナ禍のため、神事のみとし、奉賛会専務総代様だけで執り行なわせていただきます。

尚、ご使用済みの箸を当日までに当神社までご持参いただけると幸いです。

令和三年七月吉日

朝日神

